



撮影所の代わりにやってきた？ ～戸塚競馬場～



馬の博物館所有（上、右、下）



「競馬場帰りの人で賑わう戸塚駅東口」
写真撮影：坂本光雄（昭和 14,5 年頃）



「競馬場で牛の品評会を開催（汲沢町）」
写真撮影：坂本光雄（昭和 10 年代後半）



「競馬場帰りの人たち」
写真撮影：坂本光雄（昭和 14,5 年頃）



現在の競馬場跡（吉田町） 撮影：海野道男



「競馬場のコース内は田畑が残っていた」
写真撮影：坂本光雄（昭和 10 年代）

1933年に戸塚区吉田町（現在の日立横浜工場及び東戸塚小学校の敷地）に競馬場が開設されました。馬券は単複のみで1枚1円。無料で入場でき、場内にはおでんやまんじゅうなどの店も出ました。

開催日は相当な人出で、戸塚駅に東口が新設されたほど。普段は閑散とした東口周辺も、このときばかりは屋台が出てにぎわいました。戦争が激しくなると競走馬は徴用され、牛の品評会などが行われるように。やがて軍用馬の訓練所となり、1942年汲沢町（現在は戸塚高等学校の敷地）に移転し、1954年県議会で戸塚競馬場の全面廃止が決定されました。